



愛敬重之

後援会だより

2013年2月7日
第31期_後援会30号
発行責任者：愛敬重之後援会
会長 若杉 俊之

こんにちは、愛敬重之です。

桑名市も昨年12月に首長選挙があり、新しい首長が誕生しました。二代表制ですので私としても身の引き締まる思いです。引き続き、皆様の暖かいご支援ご協力をお願い致します。

さて昨年、桑名市社会福祉大会の講演を傾聴する機会がありました。講師：立木早絵さんの【心のバリアフリー】という言葉が心に残ったので皆様にご紹介、新年のご挨拶と代えさせていただきます。（立木早絵さんは日本テレビ・24時間テレビ、キリマンジャロ登頂でも有名です。）

「日本は、形のバリアフリーは欧米に比べ達成率が高いのですが、心のバリアフリーはとても低いのです。心のバリアフリーとは、偏見や固定観念など私たちの心の中に潜む目に見えない壁をなくしていくことです。駅のホームの点字ブロックは形のバリアフリーですが、心のバリアフリーが低い結果が出ているのです。視覚障がい者の気持ちを考えて、もう少し点字ブロックを後方に設置してくれば、ホームから転落せずに済むのです。」心のバリアフリーは障がいを持つ人たちだけのテーマではありません。私達の社会には、年齢・性別・国籍の違いに基づく様々な目に見えない壁が存在します。目に見えない壁を見つけ、どのようにしてなくしていくのか、一度地域やご家族の皆様で心のバリアフリーについて話し合ってみて下さい。必ず、地域や家族の「絆」が強くなると思います。

伊藤新市長が「新・桑名市7つのビジョン」を表明しました

1点目のビジョンは『中央集権型から全員参加型の市政に』です。まずは、市民の皆様から信頼される市政に改める必要があります。市長自らが地域に出向いて市民の皆様と対話する「(仮称)どこでも市長室」、様々な活動をしている団体の皆様と市長が意見交換する「(仮称)市長カフェ」を早急に実施したいと思う。役所だけがやるのではなく、市政に関わる全員が「まちづくり市民力」を発揮して、桑名市の抱える課題を解決していくまちに変えたいと思う。

2点目のビジョンは『納税者の視点で次の世代に責任ある財政に』です。桑名市の財政状況は厳しく、見通しは明るくありません。まずは、桑名市の置かれている財政状況がいかに厳しいか、全員で意識を共有するところから始める必要がある。大切なのは、行政側や、サービス受給者の視点だけでなく「納税者」の視点で考えること。「公民連携」の推進により、「官」と「民」が役割を分担して、市の財政負担を減らしながら市民サービスを維持していきたいと思う。子どもにツケを回さない、次の世代に対して、責任ある財政に変えていきたいと思う。

3点目のビジョンは『命を守ることが最優先』です。まずは地域医療対策。病院については、これまでの、方針を変えることなく、平成27年4月に、桑名東医療センター及びその周辺地に新しい病院を開設する。市民の皆様が安心して桑名で医療を受けていただく環境を作る。この地域医療対策を最優先課題として取り組む。



国道1号線側から見た鳥瞰図



4点目のビジョンは『子どもを3人育てられるまちに』です。日本が抱える一番大きな問題は、少子高齢化です。安心の源である地域医療体制を充実させるために、小児科医、産婦人科医の確保に努める。男子の育児休暇も推進する。子どもが3人以上いる世帯に対して、中学卒業までの通院医療費の無料化を実施する。また放課後の子どもたちを安全な場所で預かる仕組みを作り、学童保育所を小学校内に開設する。制度の充実と子育てしやすいムードの醸成で、子どもを3人産みたい、という若い子育て世帯の流入をめざす。学校教育では、桑名市出身の教員志望者や教員OBによる放課後の学習相談など、授業以外の時間を用いて、子どもたちへのきめ細やかな指導を充実させる。高齢者についても高齢者サロン事業を充実させる。

5点目のビジョンは『世界に向けて開かれたまち』です。海外友好都市の制定や、外国語教育の充実などにより、桑名に誇りを持ちつつ、グローバルな感覚を有する桑名人を増やしたいと思う。

6点目のビジョンは『地理的優位性を活かした元気なまちづくり』です。近い将来、国道 421 号の滋賀県側の道路が整備されるとともに、東海環状道が全線開通する。その時桑名は、東西を東京から大阪へとつなぐ線と、南北を伊勢から北陸へとつなぐ線が交差する「東海圏のハブシティ」として、重要な位置を占めているはずである。桑名に求心力を持たせることで、ヒト・モノ・カネが集まる、活気溢れる元気な桑名市を作りたいと思う。

7点目のビジョンは『桑名をまちごと「ブランド」に』です。広く市民や関係団体のご協力を得ながら、税金を使わない「桑名城再建プロ」の実施に向けた研究を行うとともに、豊かな歴史や文化を磨き上げ、地域力を高める「桑名学」を創設するなど、桑名市の持つ強みを最大限に活かして、桑名のブランド化に取り組みたいと思う。

以上、7つのビジョンをまちづくりの基本的な方針とし、桑名市政を進めていきたいと考える。

一般補正予算概要の説明

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ 651,864 千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ 45,899,252 千円とする

補正予算が掛かった主な事業と補正金額（単位：千円）

1. 民生費 439,190 千円

- ① 居住介護等給付費 10,380 千円(国庫・県支出・一般財源) 利用者の増加等に伴う給付費の増(97⇒105 人)
- ② 生活介護給付費 52,563 千円(国・県・一般) 事業者の新サービス体系への移行等による利用者の増(245⇒253 人)
- ③ 児童デイサービス給付費 26,017 千円(国・県・一般) 利用者の増加等に伴う給付費の増(34⇒56 人・166⇒355 日)
- ④ 訓練等給付費 52,753 千円(国・県・一般) 利用者増加及び新体系定着支援事業費の新設等に伴う給付費の増
- ⑤ 施設入所支援費 15,827 千円(国・県・一般) 重度支援加算基準の緩和による利用者増及び新体系定着支援事業費の新設等に伴う給付費の増
- ⑥ 私立保育園施設運営費 46,319 千円(国・県・その他・一般) 私立保育園入所児童増に伴う措置費の増
- ⑦ 子ども手当給付費 201,297 千円(国・県・一般) 申請率の向上に伴う給付費の増(99.9%)
- ⑧ 扶助費 36,082 千円(国・一般) 医療扶助、住宅扶助等の増

2. 農林水産費 34,118 千円

- ① 有害鳥獣対策事業費(緊急雇用) 1,105 千円(県支出・その他) (シカ・イノシシ・サル)による農作物等の被害防止パトロールに係る経費 直接・4人・1ヶ月
- ② 新規就農者総合支援事業費 1,500 千円(県) 青年就農給付金制度に基づく新規就農者への給付金2名・半期

3. 土木費 15,911 千円

- ① 道路施設維持補修費 6,345 千円(一般財源) 台風 17 号により崩壊した道路法面復旧工事等による増
- ② 道路施設維持補修費(緊急雇用)(県・その他) 道路・水路等の事故防止点検パトロール、清掃、除草等に係る経費 直接・6人・7日
- ③ 河川維持補修費 901 千円(一般) 台風 17 号により堆積した水路の土砂撤去による増

4. 教育費 94,732 千円

- ① 安全管理対策施設整備事業費 4,274 千円(一般財源) 長島中学校エレベーターへの戸開走行保護装置等の設置費 長島中学校エレベーター：東芝製
- ② 障害児介助費 5,500 千円(一般) 幼稚園臨時支援員の増

5. 災害復旧費 3,450 千円

- ① 農業用施設 3,450 千円(国庫支出・地方債・一般財源) 6月の集中豪雨により崩壊した農道法面復旧工事(補助災害)場所：下深谷地区

2012年第4回定例会を終えて

今回の定例会は新市長の市議会・市長選挙での選挙活動等が問われる質問や、市議会時代の行動や言動にも質問がありました。市長が「公選法に違反するかどうかの判断は、最終的に捜査当局、司法にゆだねるもの。」と答弁しているにも関わらず、未だ少数の議員は納得がいかず立ち止りの状況です。私の所属するフォーラム新桑名は新市長と共に、桑名市をより良くする為に活動しております。今回の市長に対する質問では自分に置換え、今以上に企業人として、市議として倫理感を持って行動しようと思いました。

桑名市議会議員定数条例の一部を改定する条例が可決されました

桑名市でも本定例会において議員定数が「30 人」から「26 人」に改められました。施行期日は、施行の日以後初めてその期日を告示される一般選挙から適用となりました。 以上

愛敬重之 公式ホームページ <http://www.aikyo-kuwana.net/>

